

児童朝会 校長の話 12月14・15日

この写真のカプセルが話題になりましたが、何のカプセルか分かりますか？「はやぶさ2のカプセル」そうですね。

宇宙探査機「はやぶさ2」が50億キロの旅を終えて、地球に持ち帰ってくれたカプセルです。中には、小惑星リュウグウの砂が入っています。



「はやぶさ2」は、6年前に日本で打ち上げられました。ミッションはリュウグウとい小惑星の砂を取って地球に帰ってくることでした。打ち上げから4年かかってリュウグウに到着しました。行ってみると、リュウグウの表面は岩だらけで着陸できる平らなところが見つかりませんでした。やっと見付けた場所も直径6mの広さでした。



その当時、「はやぶさ2」をコントロールして着陸させるのに誤差が50mありました。それでは幅6mのところには着陸できません。8ヶ月間かけて正確に操作できるように修正し、誤差1mまでにしました。そして見事着陸しました。まず表面の砂を採取しました。そして金属の塊を打ち込んで穴を開け、リュウグウの地下の岩を砕いて巻き上げました。次にもう一度着陸して飛び散った内部の砂を採取します。そこで、プロジェクトチームは考えました。砕かれた岩が飛び散ったところに着陸するのはとても難しいです。表面の砂が採れたの



でこのまま地球に戻るか、それとももう一度着陸するか。そこで3ヶ月かけて、様々なアクシデントを想定してどのように対応するかシミュレーションを重ねました。なんと数百万回のシミュレーションを行ったそうです。そして、ついにリュウグウに2度目の着陸をし、内部の砂を採取することに成功しました。



打ち上げから6年、ついに「はやぶさ2」は砂を入れたカプセルを予定通り地球に届けました。カプセルだけを切り離して、12月6日オーストラリアの砂漠に落としました。「はやぶさ2」は次の惑星を目指して、そのま

ま飛んでいきました。カプセルが地球に届いたのを喜ぶプロジェクトチームの皆さんの写真です。採取したリュウグウの砂は12月8日に日本に届きました。これから他の国にも砂を分けて分析をしていきます。



地球にはいろんな生物が生きていますが、生命が誕生した初めの材料は、どこから来たのでしょうか。宇宙から来たという説があります。リュウグウの砂にその材料が入っているか調べることで、生命のはじまりを解き明かす事ができるかも知れません。

「はやぶさ2」のミッションの成功は、日本の素晴らしい科学技術とプロジェクトチームの何度も検討したり確かめたり手を尽くした努力の賜です。こうしてまだ解明されていないいろいろな事が明らかにされていくのはとても楽しみです。